

今年、中学生になるあおいちゃんに
記念に題字を書いてもらいました。
筆の置き方が丁寧！精神を見習わねばっ！



皆さんが田植えをしてくださる
成山地区にはファミリー丸山とい
う、かつてこの地区の子ども達が
それぞれ、清水唯義さん(71)が、
まだ子供の頃に遊びに入っていた
山があります。(名前は平成6年、
子ども達が募集してつけました)
里の中に、ぼん、と置かれたよ
うな山は、どこへ下っても道路に
出られません。山の中で迷子になる
ことはありません。親も安心して
遊ばせられるいい山があったので
すね。



羨ましい環境でしたが、松枯れ
が進んで危険な山となり、少子化
も相まって、今では子供の遊び声
が聞こえない、鹿の鳴き声だけが
響く暗い山になってしまいました。
そこで、かつての山の姿を少し
でも取り戻すべく、唯義さんを先
頭に成山自治会の住民で山の整備
が行われました。
まずは、暗く覆っているヒノキ
や松などの伐採です。普段、耕運
機やトラクターのハンドルを握っ
ている椎名くんや、長谷川さん、

農閑期の冬は山に入って仕事を
する昔のスタイルを、郷蔵若手
メンバーが地に足をつけて頑張
っていました。(頼もしい！)
去年の暮れから進めてきた整
地作業も終わり、いよいよ広葉
樹の植栽です。成山自治会の住
民など26名程、2歳から78歳ま
で、にぎやかな集まりです。
130本の苗木(モミジ、ツツ
ジ、アジサイ)と道具を銘々に
持って山に登ります。
さて緑の支柱は？



郷蔵米通信

2020
3月号

題字 A O I

金子くんの手には
チェーンソーが。
エンジン音と木が
倒れる音がこだま
します。

この冬、成山ではとうとう雪か
きをしませんでした。雪より雨の
ほうが多かった気がします。本当
に、四季はなくなりつつあります。
それでも、春になれば萌木色、夏
は鮮やかな緑、秋は紅葉、そして
冬には様々な樹皮を見せてくれる
広葉樹たちがあれば、季節の移ろ
いがわかります。何十年後には
木を植えて、本当によかったね！
そう思う日が来ることでしょう。

野菜づくりでよく目にする、緑の支柱。
2月のうるう日、なぜか山で大活躍。そのワケとは？

2020 今年のスケジュール

- 5/31 田植え
長谷川さんの田んぼ
- 9/20 稲刈り
安江利之さんの田んぼ
- 11/8 収穫祭
今年も芋掘りします



おーい！
ここぞー！



僕のなまえを
書いてから〜っ

よいしょ！
よいしょ！



もうすぐだ！



僕、ここまで
来れたよ！
ふつうだよ！

大人でも
大変

鹿対策に使います。植えたばか
りの苗は根付いていないので、簡
単に引き抜かれたり、新芽を食べ
られたりします。そうはさせまい
と苗木に筒状のカバーを取り付け
ます。そのための支柱なのでした。
身長より長い支柱とかさばるカ
バーを、かんちゃんが頑張ってお
父さんのいる場所まで運んでいま
す。(頼もしい！)

